

～ 富士見市指定文化財の紹介 ～

水越（みずこし）門樋

| | |
|-----|------------------|
| 指 定 | 市 |
| 種 別 | 有形文化財 |
| 種 類 | 建造物 |
| 員 数 | 1基 |
| 指定日 | 平成20年（2008）3月26日 |
| 所在地 | 富士見市大字上南畑295-3 |



【概説】

水越門樋は、灌漑用水路・排水路としての目的だけでなく、増水時に旧新河岸川から水越排水へ水が逆流するのを防ぐために旧新河岸川堤に設置された煉瓦造りの樋門です。明治37年（1904）に竣工し、坑口の形状がアーチ型で、扉は木製のマイターゲート（観音扉）です。樋門は全国各地に見受けられますが、木造や石造が多く、煉瓦造りの樋門が数多く建造された埼玉県は全国的に見て特異です。市内にはかつて煉瓦造りの樋門が7基設置されましたが、現在は2基を残すのみで、数少ない明治時代の貴重な近代土木遺産です。